

# ながえの里だより

医療法人ながえ会 広報誌（第43号）

発行日 令和6年2月1日  
発行責任者 西村美智子



日本医療機能評価機構 認定病院  
医療法人ながえ会

庄原同仁病院  
庄原同仁病院介護医療院  
〒727-0203 庄原市川北町890-1  
Tel : 0824-72-7300  
Fax : 0824-72-7333  
e-mail : info@nagaekai.com  
URL : <https://nagaekai.com/>



「出雲大社（いづもおおやしろ）」撮影者 環境管理 坂元春江  
主祭神は大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）御本殿の御神体は稻佐の浜にある西の方角を向いて座っておられるので、ここから拝めば神体の正面ということになります。しめ縄が一般の神社とは逆とか・・・必見！

## 基本理念

わたくしたちは、すべての人に等しく  
仁愛の精神をもって接し、  
心の通う医療の実践に努めます。

## 基本方針

患者様の満足：常に患者様の立場に立って行動します。  
職員の満足：働きやすく、やりがいのある職場づくり  
に努めます。  
地域の満足：医療サービスを通じて地域の方々に喜ば  
れるよう努めます。

# 年頭にあたって

医療法人ながえ会 事務長 西村美智子



新年明けましておめでとうございます。

さて、今年はお正月早々に能登半島大地震のニュースが飛び込んできました。そして2日には羽田での航空機事故があり、日本中が震撼しました。

犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、負傷された方、被災された方、そのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

近年の大規模災害を教訓として、医療・介護の現場ではBCP（事業継続計画）が義務付けとなってきています。これは、それぞれの施設の立地条件で災害を想定し、災害が起きた時には初動として何をすべきか、次に事業を継続するためにはどのようなことが必要かを計画し、いざというときに動けるよう、事業所内において、日ごろから準備・訓練を行っていくものです。当院でもBCPの策定はしていますが、内容の見直しや訓練についてはまだできていないため、今回の震災で急いで取り組まなければならないと思いました。

災害のニュースをみて思うのは、AI、ロボット、DX化がいくら進んでも、大規模災害直後は電気が途絶えることが多い、それらは何の役にも立たないということです。ライフラインが途絶えた時に最終的に役立つのは、生身の人間の知恵であり、身体であり、そして人と人のつながりです。

現代社会では、テクノロジーの進化と共に、様々な分野で利便性が向上し、私たちは最小限の行動で済ませることができるようになりました。また、最近ではChatGPTの出現で、検索の時間も短縮し、時間をかけて考えなくても長文をまとめることができます。しかし、これらに頼り続けていくと、人間はどんどん衰退化し、いざ、このような大規模災害に遭ったとき、人間は瞬く間に全滅するのではないかと危惧しています。テクノロジーを操る私たち人間は、今まで以上に基礎力（知力と体力）を身に付け、人と人との繋がりを深めていくことが、自分を守り、大切な人たちを守ることになるのではないかと思います。それには家庭・学校・社会における教育が重要だと考えています。特に医療・介護の現場で働く私たちは、このような基礎力と絆を深め“気づいて迅速に行動できる人材”を育てていく必要があると思います。

2024年は“改革”的な年とされています。一人ひとりが自分自身を変えていくことが、良い未来へとつながっていくようです。現状維持ではなく、自分自身を改革することで、それぞれの人生を豊かにできるような年になることを願っています。当院の理念である“仁愛の精神”を、職員と共に育みながら、ひとりでも多くの人々が笑顔になれるよう、一丸となって頑張ってまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

今年は辰年。龍のように上昇気流にのって、より発展できる一年となるよう、職員一同、日々の業務に励んでまいります。

皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

医療法人ながえ会 職員一同

【右の挿絵は環境管理、井上智春さんによる作品です】



# 『改革』

医療法人ながえ会 理事長 村尾文規

組織の基礎に動搖を与えないように変え改めるのが改革である。改革がなければ発展もないのだから、改めて言うまでもなくそれなりに改革はしているはずである。年頭に計画を立てるのもその思いが表出したものであるはずだ。改革のための計画では、目標、方法、手順を考えて、それを実行することになるのだが、しばしば、計画倒れになる。計画も実行も冷静な判断が求められる。わたしたちは、折に触れて、当院の理念の中核をなす仁愛とは何かを考えることにしている。『仁愛』をキーワードとして病院を改革したいと思っているからである。

新しい年の幕開けに、能登半島地震、翌日には日航機と海保機の接触炎上という大事故が続いた。羽田空港では90秒に1回離着陸があり危険と隣り合わせの空港だと聞く。管制官と機長の緊張と冷静な判断によって、安全な運航が確保されているのである。そこで見た客室乗務員の冷静沈着な仕事ぶりに、多くのひとが感動を覚えたに違いない。世の人々にあの冷静さがあれば社会に大きな変革をもたらすはずである。

**去年今年貫く怒りあり（山崎末音 朝日川柳）**

ロシアによるウクライナへの侵略、中東戦争、利害関係を背景に加担する国々もある。先見性の欠如と冷静さを欠けば、一触即発、いつ、どこで戦争が勃発することは自明の理である。民主主義が崩壊の危機に瀕している。

翻って、国内でも、改革を急がなければならぬことがある。国会議員による裏金問題である。一般市民には納得できない大金が転げ込む仕組みを作っている。告発されなければ、この仕組みは存続しているはずである。『知らなかった』というパスワードをいれれば法の網の目が大きくなるらしい。秘書にはパスワードはないようだ。予想どおり、大山鳴動して鼠一匹だった。冷静な判断ができないはずがない。札束の山をみて感情が抑えられなかったということか。他国の国会議員と比較しても待遇はかなりよいと聞く、もう少し、冷静になれなかつたのか、これも下種の勘ぐりか。裏金問題を問われて『頭悪いね』とキレた議員、すぐ切れる、これも当世流か。それにしてはお粗末すぎる。一国を代表する国会議員なのだから。

**政治刷新本部初会合 まずメンバー刷新（朝日新聞 かたえくぼ）**

政治刷新本部が立ち上げられたのだが、裏金問題に関わる議員が9名もいるというのでは刷新の意気込みなど全く感じられない。弊害を除いて新しい組織にするというのだが、裏金の弊害を除いただけで新しい組織に生まれ変わらぬのか。派閥の歪を正すのであれば、刷新ではない。発展的解体が必要ではないのか。刷新の目標を問うまでもないようだ。多くの人の怒りを招いているはずだ。派閥が政策集団に変わるらしい。それでは派閥は政策集団ではなかつたということなのか。つぎは、カメレオンよろしく懲りない集団にでも看板が変わらぬかもしね。名前が変わっても実体は変わらないはずなのだが。

**逃げ切って国政担う面の皮（朝日川柳 伊藤純一郎）**

ということか。

当然のことながら、市民感情を逆なでする行為だ。この国のGDPは4位に落ち、世界的な研究をしている研究員が雇止めで研究の場を外国に求めるというニュースも見た。大学への予算の削減、研究費の削減など、国際的な競争力が年々低下していることを実感している。暗いニュースばかりである。この国はどこに向かっているのか、冬の海で漂流する日本丸をみて落胆するばかりである。

**ほとばしる水に手を合わせ能登の人（朝日川柳 増田謙一郎）**

東京水道局の応援で蛇口から勢いよく水が流れだした。老夫婦は涙を流して都庁の職員に何度も頭を下げた光景を見た。余震に慄き酷寒に震える人たちは、今も、救いの手を待っている。寸断された道路や交通渋滞で救援物資の届かない地区もあるという。復興は、一刻の猶予もないはずだ。

**『汚れてる雑巾使い汚れ拭く（朝日川柳 岸田万彩）』**

近く修正申告をするという。立件されないとの噂が流れると、目を伏せていたある議員が、法と証拠に基づいた結果だとうそぶいた。市民の国会議員見る目は厳しい。せめて、派閥より、窮余の一策を考えることが先だと思うのだが。さらに問う

**派閥裏金議員 君たちはどういきてきたか一国民（朝日新聞 かたえくぼ 神奈川県 洒落爺）**

新年早々、いささか感情が抑えられなかつたようだ。筆者に冷静な判断を求めるのは、当分のことになりそうだ。それでも、仁愛を『思いやる』とする解釈がある。『思いやる』気持ちを持ち続けたい、底流の感情が人の行動に大きな影響を与えるはずである。

懲りない人でありたい。

## Resolution

# 各部署 今年の抱負

### 看護部 【看護部長 伊東亜由美】

「やさしい声かけ」「笑顔で挨拶」をこころがけ、患者さまが安心して生活できる場所、療養できる場所を提供いたします。

職員それぞれが、相手や状況に合わせ、役割を發揮し、笑顔で満たされた病院となるよう取り組んでまいります。



### 薬剤科 【主任 黒長隆子】

患者さんの病態、状態を理解しながら、薬物療法が適正に行われるよう努めています。

### 栄養課 【主任 中原幸恵】

感染症（コロナなど）や災害への対応が確実にできる基盤を築き、患者さまが安心できる食事を提供できるよう努めてまいりたいと考えております。また、個別対応にも引き続き力を注いでいきたいと思います。

### リハビリテーション科 【主任 石田尚矢】

リハビリでの機能訓練も大事にしていますが、環境の工夫を重視し、患者さまの院内生活が少しでも快適になるよう努めています。

### 地域連携室 【室長 山野友和】

地域の皆さまとの顔の見える関係づくりを進め、また、皆さまの声をこれからこの病院運営に活かすため、訪問活動に力を入れていきたいと思います。お問い合わせいただいた際には、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 管理部 【課長 末藤達也】

管理部では、事務部門、環境管理部門（清掃）およびリネン部門（洗濯）の各部門が協力して、患者さまとご家族が安心して療養生活をお送りいただける環境を提供することを目標としています。患者さまとご家族からのフィードバックを積極的に受け入れ、業務に取り組みながら改善点を見つけていきます。患者さまとご家族が安心して過ごせる環境を提供することで、より良い医療・介護サービスを提供できるよう努めています。

## 編集後記

先日、安芸高田市の公式YouTubeチャンネルの登録者数が、自治体の公式YouTubeチャンネルとして全国一位になったとの報道を目にしました。「恥を知れ、恥を」と石丸伸二市長が議員に向けて声を荒げた姿が話題になりました。数十年後、少子高齢化により消滅が危惧される故郷を案じ、困難に立ち向かう若きリーダーの姿に、私を含め、多くの方々が関心を寄せているのだと思います。

さて、今年はその少子高齢化がもたらす2025年問題を来年に控え、これまでの真価が問われる診療報酬と介護報酬の同時改定の年です。診療報酬では、人材不足の解消を狙いとした医療従事者の賃上げ対応が盛り込まれるなど、プラス改定になります。しかしながら、新たな2040年問題、超高齢社会、人口減少が一段と進む我が国においては、批判を恐れずに言うと、例えば北欧のように医療の公営化を図るといった、税制も含めた異次元の「改革」が必要なのではないかと考えます。

話は変わりますが、連日ニュースから流れてくる政治家の裏金問題を耳にするたびに、この国の未来に絶望すら覚えてしまいます。これまでの数多くの政治とカネの問題は、国民の根深い政治不信を生んでおり、石丸市長に冒頭の言葉を国会に向けて叫んでいただきたいくらいです。

これからの世代にツケを残さないよう、「改革」を起こす新たなリーダーの出現を望みつつ、日々起こる変化に柔軟に対応し、私たちが今できることに最善を尽くしていくしかない、と襟を正す思いの新年となりました。

今年も一年、医療法人ながえ会をどうぞよろしくお願い申し上げます。（地域連携室 社会福祉士 山野友和）